



ロンドン・ロック
アドベンチャー 見るぼ

ジョン・アンダーソン(イエスの)
ロンドン郊外にある大邸宅を訪問 /
Jon Anderson

ロンドンから車で約1時間の郊外にあるバッキンガムシャーに、イエスのジョン・アンダーソンの自宅があり、私達はここを訪れてあまりの豪華な邸宅にびっくりしてしまいました。美しい自然に囲まれ、2人の子供と家族との生活をエンジョイする後からは安らぎと優しさが漂う。



London Tokyo

現地

ロンドン
ロック
アドベンチャー
見るぼ

本誌
取材

MLエディター(木島・宮坂)の
ロンドン・ロック・アドベンチャー見るぼ
一番ホットなロンドンのロック・シーンに潜入
★ジョン・アンダーソン

ロンドンの
大邸宅を訪問

Photo by K. Hasebe



●特注のオーディオ装置をバックにインタビューに答える彼の表情は優しく穏やかだ。

Jon Anderson's newly-built house

LONDON REPORT
HOT NEWS ON LONDON'S
ROCK SCENE



●玄関の前で親子ネらってゴーズとジョン・アンダーソン一家



●天体望遠鏡の姿で顔を愛くもしつに見つめられは、平凡な父親の家が使える



●口笛を吹きながらゴーズとジョン



●かわいいおやのヘランダでのスタッフ



●庭で女の子をびざに撮せながらサインをするジョンと本誌本島記者



●天体望遠鏡、ギター、大団長の置物、手通りのイス、壁に掛けられている応接間は、クラシックな装の居間が印象的



●黒いインディアンに飾られたコロンビアレコード、運動靴スタイル、黒は黒にうぶな嗜好が好きなゴーズ

6月6日の午後、私達はロンドンから40マイル離れたバッキンガムシャーにある、イエスのジョン・アンダーソンの邸宅を訪れた。邸宅の近くは白樺林、緑の芝を敷きつめた広々とした空地に牛や馬が遊び、その間にゴツゴツと大邸宅が立ち並んでいる。まるで絵本の中に入り込んだ錯覚を起させる、美しい景色に足とれながら、1時間以上もかかってジョン・アンダーソンの大邸宅に到着した。玄関のベルを鳴らすとすぐに彼がギターを抱えてニコニコしながら私達を導くわけてくれた。ちょうど奥様は学校に通っている女の子を向かえに行っているところで、彼が自らコピー機を入れて私達をもてなしてくれた。2才位になる男の子が始終彼のそばを離れず、チョコチョコ部屋の中を歩き回り、彼はそれを優しく見守りながら、我々のインタビューに応じてくれた。一つ一つの質問に素直にいいに答えてくれる彼の姿からは、誠実な面やついた男の魅力が伝わってくるような印象であった。(木島、宣成)



家によくたどり着いた。道に迷いながらも、やっと家の前に立ってみて、あまりにも大きな家にびっくりしてしまった。玄関のベルを鳴らすとすぐに白いインド・シャツに白いコットン・パンツ、運動靴のフフなスタイルにギターを抱えたジョン・アンダーソンがニコリと現われた。彼の案内で応接間に通されてこれまたビックリノ渋い茶色の色調でまとめられた部屋には、特別注文のオーグ・オ装飾、大理石の像、毎日彼が眺めているという天体望遠鏡、ブランド・ピアノ、大理石の水槽等が置かれている。この2階建ての豪華な邸宅は全部で7部屋あり、電話も部屋ごとに内線で分かれ、私達が通されたのはホールだったが、この他にミュージック・ルーム、テレビ・ルーム等、専用の部屋に分かれており、キッチンには大きな日本製のフルのれんがかかっていた。丁度この時、奥様は女の子を学校に迎えに行っているところで、下のヤンチャで甘えんぼうの2歳位になる男の子と2人しかおらず、彼はさっそくコーヒーを入れて運んできてくれた。その間にも男の子はパパにまつわりついて、甘えたり、チョコチョコあちこちを歩き回ってイタズラしたりで、彼はそれを睨み目で見守りながら、私達のインタビューに応じてくれた。折しも私達がロンドンに行った時、リック・ウェイクマンが突然脱退の表明をし、ロンドン予の間ではその噂で持ちきりだった。さっそくジョン・アンダーソンに事の真相を尋ねたが、彼はやはりそのことにはふれたくないらしく、あまり多くは語りたがらなかった。以下は、彼がイエス・サウンド、音楽観等について私達に率直に語ってくれたものである。

●リック・ウェイクマン脱退の真相は？

ML: まず、突然リック・ウェイクマンが脱退してしまいました。その理由と新メンバーについて教えてください。

ジョン: リックは今迄にもイエスと並行してソロ活動を行っていたんですが、彼はソロ活動に力を入れるため

に、必然的にグループとの両立はできなくなったわけなんです。新しいキーボード・プレイヤーはもう入れたんですが、今のところ極秘で新しいアルバムが出る8月頃に名前は発表するつもりです。

ML: ニュー・アルバムについて詳しいことを教えてください。

ジョン: 今のところ、まだそんなにはっきりしてないんです。タイトルもまだ決まってないし。ただ構想としてはワン・サイドには軽い感じ、もう一方のサイドではヘヴィーな感じで決めようと思っています。7月からレコーディングに入りますが、新メンバーのこともあるし今迄よりもレコーディングに時間がかかると思います。だけど、新しいキーボード・プレイヤーはすごい技量の持主なんですよ。

ML: 普通、アルバムを完成するまでどのくらい時間をかけるんですか？

ML: まずリハーサルの前にメンバー同志でディスカッションや準備をします。「海洋地形学の物語」の場合は、ディスカッションだけで4ヶ月も費しました。そしてさらに6ヶ月かけてリハーサルをし、レコーディングをして最後の仕上げを行なったわけです。1枚限りのアルバムの場合は、レコーディングに6ヶ月もかかりませんがね。6ヶ月もかけたら普通のアルバムを5枚作ることができますよ。

ML: 曲を作るとき、アイデアはどんなところから浮かびますか？

ジョン: あらゆる場所で見つきます。調は毎日、毎日浮かぶことはないんです。だからいい調が浮かぶまで待っている時が、一番つらいんです。

ML: あなたのソロ・アルバムについて教えてください。

ジョン: 1年位前から作曲を始めて、来年の初めには完成できると思います。このアルバムは、コンセプト・アルバムで、物語の内容は一種のおとぎ話みたいなものです。「ノアの方舟」に似たアイデアなんです。

ML: リックのソロ・アルバムをどう思いますか？

ジョン: 素晴らしいアルバムだと思います。ポップ・ミュージックとしてすぐれたアルバムで、あのオーケストラ・サウンドなんか、なかなか出せないものなだけで、本当に素晴らしいし、よく出来たアルバムですね。彼もうまく演奏してるし……。

ML: 11月に、日本へ来ることになっていたんでしょう。どうしてキャンセルしたんですか？

ジョン: とても日本に行きたかったんですが、金銭上の問題やその他のいろんな問題でとりやめになったんです。とても残念です。